

うつのみや人づくりビジョン策定懇談会（第6回）会議録

日時 平成16年10月29日（金） 午後1時32分～午後3時44分

場所 市役所 教育委員室

出席者

〔委員〕太田周，青柳宏，中村正之，小林順子，安久都和夫，遠藤敏幸，高橋克知，藤沼千春，麦倉仁巳，船津祥，渡辺映子，赤羽根肇，栗坪容子，石井智子，加藤英典

（欠席 若林治美，佐々木英明，每澤典子）

〔事務局〕教育次長，教育次長（学校担当），学校教育課長，スポーツ振興課長，教育センター所長，ほか6名

公開・非公開の別 公開

傍聴者 0名

会議経過

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 第5回会議録の確認について
- 3 協議事項
 - (1) 21世紀社会をたくましく生きる人づくり構想について
 - (2) 提言書骨子について
 - (3) 今度の懇談会スケジュールの変更と次回会議日程について
- 4 その他
- 5 閉会

会議の結果

- 1 報告事項
 - (1) 会議録について
報告資料1「第5回会議録」をもとに，事務局より説明し了承を得た。
- 2 協議事項
 - (1) 21世紀社会をたくましく生きる人づくり構想について
協議資料1をもとに，事務局より説明。その後，意見交換を行った。
 - (2) 提言書骨子について
協議資料2をもとに，事務局より説明。その後，意見交換を行った。

(3) 今度の懇談会スケジュールの変更と次回会議日程について

第7回懇談会の開催日時について協議し、12月22日(火)午後1時30分から開催することとした。

発言の要旨

1 21世紀社会をたくましく生きる人づくり構想について

(1) 基本目標について

麦倉委員 : 「生命尊重(死生観)」とあるが、死生観は表現が強すぎると感じる。また、人により受け取り方が異なってしまう可能性がある。生命尊重と表現すれば十分理解ではないか。

青柳委員 : 表現は強いと思うが、限りある存在であることを理解することにより、今を精一杯生きることの大切さが分かるのではないか。だからこそ、死生観を表現することは必要であると思う。

麦倉委員 : 確かに、無気力、無関心な若者の増加が増加している原因としては、「死生観」の欠如も考えられる。また、命の大切さを忘れていたような事件も起こっており、大切な部分であると感じている。しかし、死生観では市民に十分伝わらないのではないか。もっと分かりやすい表現を検討してはどうか。

太田委員長 : 生命尊重が重要であることは共通の認識であるので、「死生観」の表現方法について検討していきたい。

小林委員 : 生命尊重について議論され、「死生観」の表現は強いとの意見もあった。私自身はその表現は必要だと考えるが、「死生観」という表現の印象や考えを伺いたい。

太田委員長 : 死はタブーではない。よりよく生きていく上では認識していくべきものだと思う。

加藤委員 : 目標がなく、物事に無関心なのは、死を意識しないで生きていることも関係していると思う。

藤沼委員 : 「死生観」と表現されており、とても新鮮な印象を受けた。死というものを見つめ直す良い機会となるのではないか。

中村委員 : 老いと死を対にした表現がある。老いたから死に直面するのではなく、若くても死と向き合いながら生きていくことが重要だと思う。

小林委員 : 「きまり尊守の態度」は、きまりの必要性を理解し、共感した上で育つものだと思う。きまりを守る部分だけを表現するのではなく、対話などのプロセスを通し共感させる部分を加えてはどうか。

- 船津委員 : 最近は、権利ばかりを主張し義務を果たさない人も多い。ただ「きまりを守る」と表現するのではなく、権利と義務について理解してもらうことも大切であると思う。
- 太田委員長 : 「きまりと共感」や「権利と義務」については、子どもではなく、特に大人が考えなくてはならないと思う。
- 小林委員 : 科学や技術だけではなく、芸術などを含め、広い意味での「ものづくり」とした方がよいのではないか。
- 太田委員 : ご指摘のとおり、より広く「ものづくり」を捉えた方が人づくりとしては適切である。「ものづくりを通して創造力や科学・技術への理解に努めます。」と表現してはどうか。

(2) ライフステージ別の目標について

- 小林委員 : 少年期の重要な対話に「教師」を入れるのであれば、乳幼児期の重要となる対話に、「保育者（保育士、幼稚園教員）」などは入れなくてもよいのか。
- 太田委員長 : 少年期は、義務教育であり、全員が小中学校に在籍している。幼稚園、保育所などには、どのくらい乳幼児は在籍しているのか。
- 佐々木副主幹 : 3歳児のうち、保育所には約20%、幼稚園には約60%、4歳児では、保育所には約25%、幼稚園には約75%でほとんどが、どちらかに在籍している。
- 太田委員長 : ほとんどが在籍しているのであれば、乳幼児期に、「保育者」を入れることも検討してはどうか。
- 青柳委員 : 今後は、子どもを社会で育てるという方向になるので、乳幼児期に、「保育者」さらに「地域の人々」なども加えた方がよいと思う。
- 小林委員 : どのような視点で、重要な対話を位置づけているのか。
- 佐々木副主幹 : 社会変化を踏まえて、今後、特に重要となる対話の対象を位置づけた。
- 小林委員 : 今後の社会変化を考慮し、対話を位置づけるのであれば、少年期の対話に「教師」は入れる必要はないのではないか。少年期の子どもは、すべて学校に在籍しており、「教師」という存在は大切ではあるが、重要性が増すものとは思われない。
- 中村委員 : 以前、児童生徒に調査を行なったところ、相談する大人として教師が4番目であり、長い時間、同じ場所で過ごしている教師との対話が、意外と行なわれていない現状がある。そのため、少年期の対

話には「教師」を入れるべきであると思う。

藤沼委員 : 新しい人づくりを行なうビジョンの中で、重要な対話として位置づけなくてはならないくらい教師との対話が不足しているのか。本来、対話がなされるべき中での問題点であれば、別の場所に位置づけるべきだと思う。

太田委員長 : 今後の人づくりは、学校だけではなく、企業、官公庁を含め、社会全体で行なうものであると思う。そのなかで、どんな対話が今後重要になるか再度、整理していきたい。

太田委員長 : 青年期に「社会に通用する自分らしさ」との表現があるが、自分らしさと身勝手さを混同して考えることも考えられるので、社会の中で通用するものであることも必要であると思う。

2 提言書骨子について

(1) 各ライフステージのメッセージと5つの提言について

赤羽根委員 : 役割の中にNPOが入っている。NPOは、目的や役割が団体により異なり、人づくりに関係するものだけではない。また、地域社会にも含まれるものなので、NPOを表現しなくてもよいのではないか。

佐々木副主幹 : 住民自治の進展を踏まえ、20年後の社会を想定してNPOを表現した。今後は地域だけではなく、目的のために集まる団体も増え、社会の重要な役割を担うとも考えられるのではないか。

船津委員 : NPOは法人格をとった団体であり、限定されてしまう。より広い意味で人づくりに関連する団体を表現するならば「市民活動団体」とすればよいのではないか。

小林委員 : 乳幼児期は、基礎を培い自我が確立される時期であるので、特別な時期である。乳幼児期の子どもと接している保育者など専門家に見てもらい意見を聞く必要がある。

船津委員 : 「我慢」と言う表現が多く、押し付けるような印象を受けた。我慢させるには、なぜ我慢するのか理解させることが大切ではないか。

小林委員 : 基本的な生活習慣を身につけると同様に、基本的な信頼関係を得ることも大切である。孤立している子どもが増えているように感じるので、大人がともに過ごす時間を増やし、共感できる環境づくりなど、表現してはどうか。

船津委員 : 企業の役割は、より具体的に記載し、養育期間の従業員に対して、

配慮するなど、より責務を強く打ち出してはどうか。

藤沼委員 : 現在、少子化が進行し深刻な問題となっていることから、300人以上の企業では次世代育成支援計画の策定が義務づけられている。人づくりに関しても、企業と携協力して行なっていく必要があり、ビジョンに盛り込むべきだと思う。

太田委員長 : 企業にも人づくりに参画してもらおうという要望を出しておくべきである。その上で、企業や地域、市民、行政で相互に要望や意見を出し合うなどのインタラクションを大切にしながら、人づくりを推進していくことが重要ではないか。

麦倉委員 : 成人期の提言については、企業は従事者の自己実現のために、研修だけでなく、ボランティアに積極的に参加することが今後必要になると思う。また、高齢期では、バリアフリー化の促進など自分から外で活動できる環境作りの部分を加えてほしい。

(2) その他

遠藤委員 : 世代ごとのメッセージと提言の重点化を図り、具体化できるような方針を出せば、宇都宮市らしさを出せるのではないか。

栗坪委員 : 人づくりを考えた時、その理念は、人の真理にあたるものなので、どこで策定しても同じくなると思う。無理に理念を斬新なものにする必要はないと思う。理念実現の方法、例えば「対話」などに重点をおくなどして宇都宮の独自性を出すべきだと考える。

太田委員長 : 宇都宮市は企業の条件に恵まれている。こうした条件を生かし、宇都宮市らしさを出す方法もある。企業は利益をあげればよいという時代は、既に去っており、企業が人づくりにどう係わっていくかといくことは重要であると思う。